

次期「三重県教育ビジョン(仮称)」中間案(修正版)について

現行の三重県教育ビジョンの計画期間が令和元年度末で終了することから、次期の「三重県教育ビジョン(仮称)」を策定しています。

中間案に係る三重県教育改革推進会議や三重県議会での審議、パブリックコメント等を踏まえ、[資料4](#)のとおり中間案(修正版)をとりまとめました。中間案(修正版)の概要は以下のとおりです。

1 三重県教育改革推進会議及び県議会の意見への対応について

三重県教育改革推進会議及び教育警察常任委員会において、中間案に対していただいた意見とその対応状況は[資料5](#)のとおりです。

2 パブリックコメント等について

次期「三重県教育ビジョン」(中間案)について、下記(【参考資料】次期「三重県教育ビジョン」の策定経過)のとおり、パブリックコメント、児童生徒、大学生との意見交換、「キッズ・モニター」(電子アンケート)を実施しました。

パブリックコメントの概要は[資料6](#)、詳細は[資料7](#)のとおりです。

3 中間案から中間案(修正版)への主な変更点

上記1および2、「みえ県民力ビジョン第三次行動計画」や次期「三重県教育施策大綱」をふまえた主な変更点は次のとおりです(中間案からの変更箇所については[資料8](#)(新旧対照表)のとおりです)。

No	施策名等	頁	変更内容	備考
1	はじめに(策定の趣旨)	1	子どもを取り巻く課題として、「不登校児童生徒への支援」を加筆	新旧対照表 No1 パブコメ(1)
2	はじめに(策定の趣旨、計画期間)	1 ～ 2	「10 年先を見据えた4年間(令和2年度から令和5年度)」を「令和2年度から令和5年度までの4年間」に記述を修正するとともに、「現在の社会情勢等に的確に対応し本ビジョンの計画期間における施策を着実に進めていく」旨の記述を追加	新旧対照表 No2 県議会意見(1) パブコメ(6)
3	はじめに(位置づけ)	2	教育ビジョンと「教育施策大綱、みえ県民力ビジョン・第三次行動計画との関係性」についての記述を追加	新旧対照表 No4 県議会意見
4	教育を取り巻く社会情勢の変化	6	「教職員の時間外労働の上限」に係る記述を追加	新旧対照表 No6 県議会意見(2) パブコメ(9)

No	施策名等	頁	変更内容	備考
5	学力の育成	17	国における大学入学者選抜改革の動き (大学入学共通テストにおける記述式問題の導入見送り)に伴う記述の修正	新旧対照表 No13
6	学力の育成	18	「学ぶ楽しさ・わかる喜び」に係る記述を追加	新旧対照表 No14 子どもの意見
7	幼児教育の推進	22	「幼児教育・保育を一体的・総合的に推進するための取組」について記述を追加	新旧対照表 No23
8	読書活動・文化 芸術活動の推進	27	「読書に親しみ、楽しむこと」に係る記述を追加	新旧対照表 No28 子どもの意見
9	健康教育・食育 の推進	32	「性に関する指導」に係る記述の追加	新旧対照表 No34 パブコメ(62、66)
10	健康教育・食育 の推進	32	「食料の大切さ」などの食に関する指導の 充実に係る記述の追加	新旧対照表 No35 パブコメ(70)
11	特別支援教育 の推進	44	「インクルーシブ教育の推進」に係る記述 の追加	新旧対照表 No50 教育改革推進会議 意見(6) パブコメ(84) 子どもの意見
12	一人ひとりの学 びを支える教育 の推進	46	「支援情報ファイル」の名称を「パーソナ ルファイル」として記載	新旧対照表 No52 パブコメ(91)
13	特別支援学校 における自立と 社会参画に向け た教育の推進	47	「農福連携等をととした職域の拡大」に係 る記述の充実	新旧対照表 No55
14	特別支援学校 における自立と 社会参画に向け た教育の推進	48	「小中学校における医療的ケア」に係る 記述の追加	新旧対照表 No56 パブコメ(94)

No	施策名等	頁	変更内容	備考
15	学びのセーフティネット・学びの継続	65	「義務教育未修了者等への支援」に係る記述の追加	新旧対照表 No76
16	学びのセーフティネット・学びの継続	65	指標を「生活保護世帯に属する子どもの高等学校等進学率」から「生活困窮家庭またはひとり親家庭の高校生世代が利用できる学習支援を実施する市町数」へ変更	新旧対照表 No78
17	教職員の資質向上とコンプライアンスの推進	75	教員等に係る「資質の向上に関する指標」に係る記述の整理	新旧対照表 No84 パブコメ(120)
18	教職員の資質向上とコンプライアンスの推進	77	「不祥事根絶」に係る記述の整理(不祥事「ゼロ」から「根絶」への変更)	新旧対照表 No85 教育改革推進会議意見(9)
19	学校における働き方改革の推進	81	指標を「教職員の負担軽減が進むことで教育の充実が図られた学校の割合」から「教職員の満足度」へ変更	新旧対照表 No92 教育改革推進会議意見(12) パブコメ(134)
20	家庭の教育力の向上	84	「男性の育児参画」に係る記述の整理	新旧対照表 No98 パブコメ(137)
21	教育ビジョンの実現に向けて	89 ～ 90	各主体の「役割」、「期待される役割」に係る記述の整理および「企業における教育への積極的な参画」に係る記述の追加	新旧対照表 No100 パブコメ(141)

4 数値目標について

中間案(修正版)の作成にあわせ、資料9のとおり、各指標の現状値および目標値を記載しました。

5 次期教育ビジョンの名称について

次期教育ビジョンの名称および副題(案)について、以下のとおりとしたいと考えています。

三重県教育ビジョン

～子どもたちが豊かな未来を創っていくために～

- ・三重県では本県における教育のめざすべき姿とその実現に向けた施策の方向性を示す指針を「三重県教育ビジョン」として平成 23 年度に策定し、以降2期(平成 23 年度から 27 年度、28 年度から令和元年度)わたって施策の展開を図ってきました。こうしたなかで、「三重県教育ビジョン」については、県民の皆さん、県内教育関係者に定着している名称であると考え、引き続き、この名称を使用していきたいと考えています。
- ・副題の「子どもたちが豊かな未来を創っていくために」は、「教育ビジョンに込めた想い」のキーワードです。

6 今後のスケジュール

令和元年12月13日(金)	教育警察常任委員会(中間案(修正版))
令和2年 2月上旬(予定)	三重県教育改革推進会議(最終案)
3月	教育警察常任委員会(最終案)

【参考資料】「三重県教育ビジョン」の策定過程（令和元年 12 月）

1 「三重県教育改革推進会議」における審議

「三重県教育改革推進会議」（三重の教育の改革に関する重要な事項を調査審議するために、条例により設置された有識者会議）に審議を依頼しました。

現在までに、平成 30 年 8 月 7 日から令和元年 9 月 27 日まで、計 6 回審議をいただきました。（策定までに計 8 回審議いただく予定）

2 児童・生徒・大学生との意見交換会

現在学校や地域などで様々な学習に取り組んでいる小学生、中学生、高校生、特別支援学校の皆さん、また教職を志して県内大学教育学部で学んでいる大学生の皆さんから、教育に対する率直な意見を聴取しました。

校種	開催校	訪問日	参加者数
大学	皇學館大学	10 月 24 日	8 名（ 4 年生 6 名、 3 年生 2 名）
	三重大学	10 月 30 日	122 名（ 4 年 122 名）
高等学校	松阪高校	11 月 19 日	9 名（ 2 年生 5 名、 1 年生 4 名）
	名張青峰高校	11 月 20 日	4 名（ 2 年生 4 名）
	四日市商業高校	11 月 21 日	9 名（ 3 年生 3 名、 2 年生 3 名、 1 年生 3 名）
	相可高校	11 月 22 日	3 名（ 3 年生 3 名）
	津西高校	11 月 13 日	7 名（ 2 年生 3 名、 1 年生 4 名）
特別支援学校	度会特別支援学校	11 月 25 日	2 名（ 中学部 2 年生 1 名、 1 年生 1 名）
中学校	鈴鹿市立平田野中学校	11 月 13 日	5 名（ 3 年生 5 名）
	多気郡多気町松阪市学校組合立多気中学校	11 月 12 日	6 名（ 2 年生 3 名、 1 年生 3 名）
	鳥羽市立答志中学校	11 月 8 日	6 名（ 3 年生 1 名、 2 年生 4 名、 1 年生 1 名）
小学校	紀北町立上里小学校	11 月 22 日	14 名（ 6 年生 5 名、 5 年生 9 名）
	東員町立笹尾東小学校	11 月 14 日	8 名（ 6 年生 6 名、 5 年生 2 名）
	伊勢市立厚生小学校	11 月 12 日	10 名（ 6 年生）

（主な意見）

- ・ ICT 活用で板書にかける時間を少なくすることで、児童生徒と対話する時間を増やしたい。（大学生）
- ・ 教員の世界は閉鎖的なので、もっと学校が地域や社会とつながる必要がある。そうすれば結果的に教員の負担軽減にもつながる。（大学生）
- ・ 通学時に大量の教材を運ばなくてもよいように、教科書・辞書・ノートなどをタブレット PC に一元化してほしい。（高校生）

- ・ 自分で言うべきことを言ったり義務を果たしたり自立した大人になるためには、細かい校則で縛るより、自分たちでより良い学校生活の在り方を考えるべきだ。(高校生)
- ・ 先生が一方向的に教えるだけでなく、生徒同士が教え合うなど、ともに考える授業のほうがよい。(高校生・中学生・小学生)
- ・ 学校のトイレは使いにくいので改善してほしい。(高校生)
- ・ 小中学校との交流の機会が増えとうれしい。(特別支援学校生)
- ・ 学年を越えた交流があると学校が楽しくなる。(中学生)
- ・ 外国人と交流ができるので、英語学習は楽しい。(中学生・小学生)
- ・ 地域の歴史や文化を学ぶことを通じて、新たに知ったり体験を積んだりすることができる。自分の地域のことも発信したい。(小学校)
- ・ 学校生活においては、相手の気持ちを考えて、みんなが楽しめるようにしたい。(小学校)

3 三重県キッズモニターによる意見聴取

(1) 意見募集期間

令和元年 11 月 15 日(金)～11 月 29 日(金)

(2) 意見数

217 人(高校生 72 人、中学生 61 人、小学生 84 人)の児童生徒から意見をいただきました(インターネットを使った電子アンケート)。

(3) 主なアンケート結果

がんばっていること(算数・数学 37% クラブ活動 27% 英語 21%)

地域学習での変化(詳しく知れた 53% 地域を残していきたい 19%
地域をよくしていきたい 11%)

道徳の授業での変化(変化した+どちらからといえば変化した 69%
変化することはない+変化は少ない 31%)

どんな学習が大切か(調べ学習をする 64% 仲間の意見を聴く 48%
学級や班で話し合う 40% /
学校外のいろいろな人に話を聞きに行く 40%)

これからの学校生活について望むこと(自由回答)

- ・ 教科の勉強以外の行事などで友人や先生との関係性を深めたい
- ・ 個人を尊重しあいながら、皆にとって居心地よい環境になったらよい
- ・ 先生が導き出す形ではなく自主的にやりたいと思わせる環境がよい
- ・ たくさんの友達と意見を交換して、なぜそう考えるのかを考えたい
- ・ もっと先の勉強をしていきたい
- ・ 担任の先生は交代制でたくさんの人と交流したい。
- ・ 高校でも給食を食べたい。
- ・ 地域の事を他の地域の人に伝えたい